

# 新たな挑戦

弁護士 北村 幸裕



どういうわけか、去年は、様々な新しいことに挑戦できた1年でした。共通の趣味を持つ方とお話しできれば嬉しいので、皆さんにご紹介しようと思います。

## 1 ソルトルアーフィッシング

まず、去年の燦でご紹介したのですが、海でのルアー釣りを始めました。

始めた当初こそ、釣れるかな？などと心配していましたが、基本的に海の魚はあまりルアー慣れしていないようです。小振りなものが多いのですが、アジ、サバ、メバル、カサゴなど、山ほど釣れました。始めたころに夢見ていたとおり、子どもたちに「もうアジいらん」を、本当に言わせることができました。

今年はもう少し釣りの対象を広げて、大物を狙っていかうと思っています。

## 2 キャンプ

外出自体は嫌いではなかったのですが、ショッピングといった外出はあまり好きではなく、休みの日は室内に籠もり、読書したり、音楽を聴いたり、時には併せて歌ったりギターを奏でたり、ゲームをしたり…というインドア生活が完全に染みついていた。「色黒のくせに何でインドアやねん！」とよく言われました。しかしながら、それは誤解なのです。僕は陽に焼けやすく、色が戻りにくい体質なだけなのです。

ところが、上記の釣りを通じて自然に触れることが増えたためか、積極的にアウトドアでの遊びを楽しむようになってきました。

というわけで、キャンプにハマりました。

まだまだ初心者なので、冬の雪山に登って、山頂でテントを張るといようなハイレベルなことはとてもできません。今は、オートキャンプ場というサイトのすぐ側まで車を乗り付けられるところで、ほのぼのとキャンプを楽しんでいます。

何回か行っているうちに、テント張りや食事の準備等にも慣れてきたので、楽しむことが増えてきました。最初は、テントを張ったり片付けるのだけで大仕事だったのに、驚くべき進歩です。同じことを繰り返すと、人って上達するんですね。

直近のキャンプでは、自家製の燻製にチャレンジしてみました。すぐ裏側が海（砂浜）でしたので、ヒラメとかマゴチが釣れたらそれを燻製にしてみたかったのですが（そもそもヒラメって燻製に向いているのか？）、そのときはボウズでしたので、やむを得ず近くのスーパーで食材を買うことになりました。残念。

次こそは釣った魚を燻製にして食べてみたいです。

## 3 囲碁

きっかけは「ヒカルの碁」です。漫画「ヒカルの碁」が連載していて大人気だったのが、僕が大学生の頃です。当時、ブームに乗っかろうと、友人達と一緒に大まかなルールを覚えたのですが、誰かの指導を受けるわけでもなく、碁石や碁盤を使って実際に打つこともないまま、あっという間に仲間内のブームは終わってしまいました。

先日、偶然「ヒカルの碁」を読み直す機会があり、うちの子どもたちにも読ませたところ、とても面白かったらしく、一緒に囲碁を覚えることになりました。

子どもたちは囲碁教室に通ってメキメキと強くなってきています。子どもを相手に打つと実感するのですが、子どもの判断は本当に早いですね。もちろん、何も考えずに間違っただけの手を打つことも多いのですが、僕があれこれとゆっくりと考えていることを瞬間的に考えて、次の手を打っているようで、感心することが多いです。

最初は僕の方が圧倒的に強かったのですが、最近では、子どもの方が強くなってきました。もうすぐ「石を置け」と言われそうです。負けると悔しいので、子どもには絶対負けない将棋やオセロでケチョンケチョンにして、憂さ晴らししてやります。

囲碁は、世代をこえた人たちと一生楽しめるものですので、仕事の合間に少しずつ勉強しながら、のんびりと楽しんでいこうと思っています。

## 4 英会話

受験勉強や大学の授業で英語を勉強しただけです。僕の英語力は、「読む>書く>聞く>話す」です。しかも全体的にレベルは高くありません。

英語で話しかけられた時、これまでは、何ら臆することなく、ジェスチャーと日本語で堂々たる対応をしていました。ただ、日本にいるときはいいとしても、海外に行ったときもそれでいいのだろうか？とふと思ったのです。旅行に行くと、確かに日本語が通じる場所は多いのですが、英語でコミュニケーションがとれるととっても楽しいことがありそうです。

そこで、まずは、日常会話をストレスなくできることを目指して、毎日少しずつがんばっている次第です。いずれは寝言を英語で言うてみたい。

## 5 まとめ

というわけで、去年40代に突入し、ますますエネルギーに毎日を過ごしています。共通のご趣味をお持ちの方々、ぜひお声がけください。